

シミュレーション高速化

こんなことで困っていませんか？

- 光線追跡の計算処理に多くの時間を要している
- 光学系の最適化処理に時間がかかっている
- 計算に時間をかけられず、やむをえず低い精度で評価している

一般的に、大規模なモデルでの光線追跡や複雑なモデルの最適化、高精度の評価には、計算処理に多くの時間を要します。

Ansys SPEOS HPC 機能を利用することで、計算処理を高速化して、開発の期間を短縮でき、より多くの設計パターンを検討できるようになります。

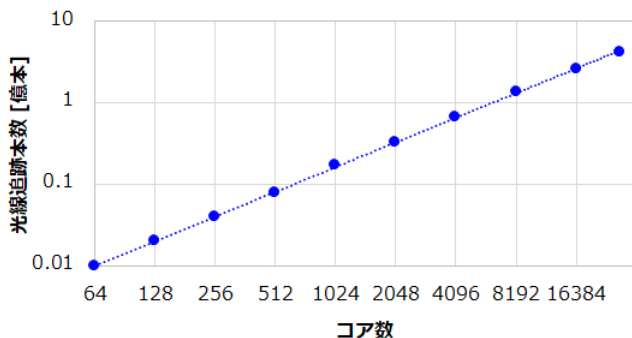
HPCによる計算処理の高速化

SPEOS HPCは、ハイパフォーマンス・コンピューティング（HPC）および可視化リソースへのアクセスを提供します。自前の設備で使用できるだけでなく、クラウド上のマシンでも利用でき、この場合には設備の導入や管理などのコストがかからずに済みます。

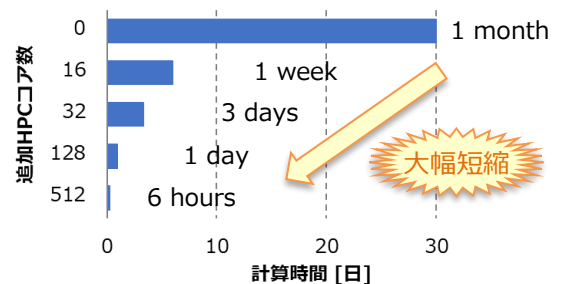
計算処理可能な光線追跡本数は、使用するコア数にほぼ比例し、飽和することはありません。コア数を増やすほど、計算時間を短縮することができます。

また、GPUによる高速化も可能であり※、対応GPUグラフィックボード搭載の解析用ワークステーションもご案内できます。

※ GPUによる高速化は HPC 32個以上が必要。



単位時間での光線追跡本数



コア数に対する所要時間 (ソルバーが1つの場合)

効果

- 効果1 光線追跡処理の時間を短縮できる
- 効果2 最適化の際、より多くのパターンの検討が可能になる
- 効果3 高精度の評価結果を早く得られる

お問い合わせ

サイバネットシステム株式会社 CAE事業本部 CAE第2事業部
 E-mail: optsales@cybernet.co.jp
 WEB: <https://www.cybernet.co.jp/optical/>